

はくぶつかんネット

第1号
GINOWAN MUSEUM
2000年 秋冬
宜野湾市立博物館 発行

TEL : 098-870-9317

FAX : 098-870-9316


 博物館イメージキャラクター
天女ちゃん

宜野湾市立博物館は1歳になりました！！

「宜野湾市立博物館はいつ開館したのですか？」

と、これまでに何度も質問がありました。当館は昨年の平成11年6月1日に開館し、2年目を向かえているところですが、残念ながらまだまだ知られていないのが現状です。

宜野湾市民はもちろんのこと、多くの方に宜野湾市立博物館の存在を知ってもらえるような、また、一度足を運んでくださった方にも、何度でも来てもらえるような魅力ある博物館をめざして、今後も様々な事業を展開していきたいと考えています。



▲博物館の外観

わらばー体験じゅく

(本年度事業の中間報告 その1)


▲大山での田イモの植付け

本年度最初の事業として、6月10日(土)に“わらばー体験じゅく”を開講しました。今回は30名の大変元気な子ども達が集まりました。来年の2月まで、毎月第二土曜日に同じメンバーが集まって、いろいろな事を体験します。

これまでに体験したことは、博物館見学・田イモの植付け・昔の玩具作り・わらざうり作り・昔の道具を使っの豆腐作りなどがありました。

参加した子ども達は普段なかなか体験できないことに、戸惑う場面もありましたが、それぞれに楽しみを見つけ、有意義に過ごしていたようです。

今後、大山田イモ畑の野鳥観察・田イモの収穫を体験し、9ヶ月の長い？じゅくは終了となります。



▲豆腐作りの様子

企画展 “なちかさん 沖縄” (本年度事業の中間報告 その2)

企画展示室では、8月5日から28日まで「なちかさん 沖縄～新田賀信コレクション」展を開催し、昭和前半頃までに沖縄で使用された民具を中心に展示しました。

「懐かしい」、「昔の人は智慧がある」、「物の大切さを実感した」など、さまざまな感想が寄せられました。

大切にしている資料をこころよく貸し出して下さり、展示物に関してのご説明をして頂いた新田賀信さん、ありがとうございました。

新田さんの収集資料は伊佐にある、“あらんていん・やさ”というミニ資料館で現在見ることができます。



オープニング・セレモニーでの一コマ



文化財図画作品展 (本年度事業の中間報告 その3)

台風で一ヶ月延期となりましたが、10月には市内の小中学生が描いた宜野湾市の文化財の図画作品展を行いました。これは絵を描くことにより、身近な文化財に触れる機会をもってもらおうことが

目的です。毎年多くの作品が集まり、学校の先生方によって審査され、賞が決まります。

描かれる対象としては普天満神宮、森の川が圧倒的ですが、市内には他にもたくさんの文化財があります。

今回の図画作品のうち教育長賞、金賞の作品は沖縄銀行の普天間支店で11月10日～29日まで展示される予定です。まだ、ごらんになっていない方は足を運んでみてはいかがでしょうか。



▲表彰式のもよう

羽衣にさそわれて ～比嘉美津子絵画展 (その他の事業)

博物館に天女が舞い降りてきました。

11月1日～6日まで、普天間高校出身で現在埼玉県を創作活動の拠点となさっている、比嘉美津子さんの絵画展を開催しました。

森川の羽衣伝説の他、宜野湾の昔の風景などを題材にした絵が所狭ましと展示され、芸術の秋、多くの方が見学にいらしていました。



▲テープカット

図書室の紹介

皆さんは2階にある図書室を利用したことがありますか？
もしかすると博物館には行ったことがあるけれど、図書室があることを知らなかったという方もいるかもしれませんね。

図書室は博物館が開館している間(9時～17時)は誰でも自由に利用できます。又、図書室のみの利用ですと無料です。利用者が少ないので結構穴場かもしれません。

しかし法律で定められた図書館とは違うので、資料の貸し出しやコピーサービスがなく、原則的には閲覧のみという利用しかできないことはご理解下さい。

棚の表示等の整備はこれからなので、利用面で不便を感じられるかと思いますが、資料の検索や、資料が見つからない場合は気軽に職員に声を掛けて下さい。

最後に博物館から一つお願いがあります。所定の場所以外での飲食・喫煙は禁止ですので、皆で守って、他の利用者の為にも大切に利用していきましょう。



▲図書室

博物館の外側、そしてこれから

博物館の外も、案外見落としがちな部分かもしれません。花壇には多くの草花が咲いています。また、パパイヤやトウガンなども植えられていますが、他に類を見ないものとして、なんと田んぼがあるんですよ。田んぼとはいっても、もともとは縦43cm、横158cmの花壇でしたので、本当に小さな小さな田んぼですが、そこには台風にも負けずに稲がすくすくと育っていて、収穫の時期をいまかいまか

だけでしょうか)。その傍らには1本の田イモと存在をアピールしながら

これはある職員の提案ですが、「あれではすぐに枯れる職員は、見るたびに隠せません。稲穂が緑色

いき、重みで垂れてきていて、そろそろ収穫時ですので、早めに見ておいてくださいね。

まだ先のことですが、田イモといえば大山ということで“大山の自然展”、米といえば食ということで“沖縄の食文化に関する企画展”を、平成13年度開催に向けて準備中です。



▲もうすぐ収穫

と待ち望んでいます(それは職員

が申し訳なさそうに、でもしっかり育ってくれています。

というか独断で進められたものでてしまうだろう」と考えていた多数しっかりと育っていく姿に驚きから黄金色に少しずつ変わって

資料の寄贈、ありがとうございました

平成11年6月に博物館が開館してから平成12年10月現在までに様々な資料の寄贈がありました。寄贈していただいた資料には、民具類(生活用具・農具・漁具)、衣類、遊具、紙幣・硬貨、戦争資料、写真・絵はがき・ポスター、たばこ、ビン、パスポート、レール、機械、模型、卒業記念共同制作品、貝類などがあります。

(寄贈者名の記載は寄贈を受けた日順)

翁長 良明・宮里 朗・比嘉 定信・古美術ウアン・真喜志 康德・宮城 盛昌・
嘉陽 春子・山城 昌氷・上原 謙・外間 伸儀・天久 仁助・仲村 元春・
山本 朝保・仲宗根 成豊・浜元 智・宮城 善光・砂川 お千代・比嘉 秀盛・
當山 清・屋部 綾子・新田 賀信・八木 恵美子・古屋 宏

これらの寄贈品は平成13年に新収蔵品展で公開します。本当にありがとうございました。

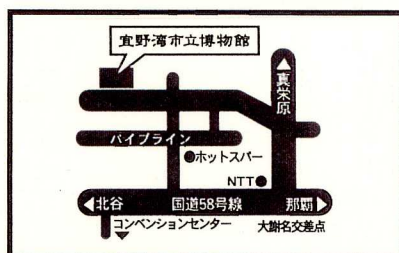
※博物館では昔の道具や衣類、写真などの資料、宜野湾に関する資料(普天間基地など)を収集しています。ご一報下さい。[連絡:870-9317]

これからの事業あんない

平成13年1月～3月の間に新収蔵品展や、講演会を予定しております。

今後の事業に関する詳しい日程や内容は、市報や新聞や雑誌の情報欄、次回のはくぶつかんネットなどに載せますので、どうぞ見落としのないように！

宜野湾市立博物館



△大型バス用の駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県宜野湾市真志喜1-25-1

TEL : 098-870-9317

FAX : 098-870-9316

◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日

午前9時～午後5時

※入館は午後4時30分まで

◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日

年末年始(12月29日～1月3日)

◎ 常設展示室観覧料

	大人	高校・大学生	小・中学生
個人	200円	100円	50円
団体	150円	50円	30円

※団体は20名以上から